

I 観 光 動 向

1 概 要

(1) 観光客数

本市の入込観光客数は、平成9年（1997年）には、NHK大河ドラマ「毛利元就」の放映や大型イベントの開催に加え、「原爆ドームの世界文化遺産登録」（平成8年（1996年）12月）による注目の高まりなどにより、初めて1,000万人を突破した。その後、平成16年（2004年）までは、900万人台で推移していたが、平成17年（2005年）には、広島県大型観光キャンペーンの実施に伴い、8年ぶりに1,000万人を突破し、その後は1,000万人以上を維持している。

平成26年（2014年）は、「瀬戸内しまのわ2014」や「JR西日本重点送客キャンペーン」の取組などにより、対前年比1.2%増の1,165万2千人となった。

平成27年（2015年）は、各種被爆70周年事業の開催や新白島駅の開業に加え、球団史上最多となる観客動員数を記録したカープ球団人気の高まりも重なり、対前年比3.0%増加の1,199万7千人となった。

平成28年（2016年）は、オバマ前米国大統領の訪問や原爆ドームと厳島神社の世界遺産登録20周年観光キャンペーンの実施などに加え、25年ぶりのリーグ優勝を達成したカープ球団の人気も重なり、対前年比5.1%増で過去最高の1,261万1千人となった。

平成29年（2017年）は、カープが37年ぶりにリーグ連覇したことに加え、広島駅周辺の再開発の進捗及び広島駅自由通路開通やekie（エキエ）のオープンによりJRを利用した観光客が増加し、対前年比6.3%増の1,341万4人となり、7年連続で過去最高を更新した。

平成30年（2018年）は、カープ球団のセ・リーグ3連覇や、アーバンスポーツの国際大会「FISE」、女子テニスの国際大会「ジャパンウィメンズオープンテニス」などの大型イベントが広島で初めて開催され、国内外から多くの来訪があったものの、7月に発生した豪雨災害や大型台風などの影響により、対前年比0.4%減の1,336万2千人となった。（表I-1）

(2) 修学旅行生

修学旅行生数は、平成3年（1991年）までは50万人台で推移していたが、それ以降、児童・生徒数の減少や修学旅行の多様化などにより減少傾向にあったことから、平成16年度（2004年度）に、修学旅行誘致専任職員を配置し、全国の学校や旅行会社等に対する個別誘致活動を開始した。こうした取組の結果、全国の学生数が減少傾向を示しているのに対し、平成20年（2008年）以降は、30万人以上を維持している。

平成26年（2014年）は、9月以降、平和記念資料館の東館が改修工事で閉館されているにもかかわらず、対前年比3.5%減の30万5千人にとどまった。

平成27年（2015年）は、山口県にて第23回世界スカウトジャンボリーが開催され、約2万5千人が平和記念資料館を訪れたことから、対前年比9.8%増の33万5千人となった。

平成28年（2016年）は、前年の第23回世界スカウトジャンボリー開催による大幅増加の反動により、対前年比3.6%減の32万3千人となった。

平成29年（2017年）は、平和記念資料館の本館が耐震改修工事で閉館したものの、東館をリニューアルオープンするとともに、積極的な個別誘致活動を継続した結果、対前年比1.2%減に留まる31万9千人となった。

平成30年（2018年）は、平成27年度及び平成28年度に個別訪問を行った北海道や東北地方の高等学校などからの修学旅行生が増加した結果、対前年比2.2%増の32万6千人となり、11年連続で30万人台の水準を確保した。（表I-1）

(3) 外国人観光客

外国人観光客数は、平成 15 年（2003 年）から官民あげての外国人観光客誘致事業である国のビジット・ジャパン・キャンペーン（V J C）が開始され、平成 16 年（2004 年）には 20 万人を突破、その後も V J C 事業の推進により、連続して過去最高を更新し、平成 19 年（2007 年）には初めて 30 万人を突破した。しかしながら、平成 20 年（2008 年）に、世界金融危機による景気後退と円高急進の影響を受けて、それまでの増加傾向から足踏み状態となった。平成 22 年（2010 年）は、V J C 事業として米国・豪州・韓国・中国・台湾を対象に、旅行会社への観光説明会や商談会の開催、視察の受入れなどを行うことにより、対前年比 11.5%増の 33 万 9 千人となった。平成 23 年（2011 年）には、東日本大震災の影響で、対前年比 18.3%減の 27 万 7 千人となり、30 万人を下回ったものの、平成 24 年（2012 年）に、本市が観光庁の「訪日外国人旅行者の受入環境整備事業」において、外国人旅行者受入れの中核的な役割を担う戦略拠点に選定され、外国人旅行者向け街角観光案内所「トラベルパル・インターナショナル」を設置するなど受入環境の整備を進めるとともに、これまで同様 V J C 事業や旅行会社等へのプロモーション活動を実施した結果、対前年比 31.0%増で過去最高の 36 万 3 千人となった。

平成 25 年（2013 年）は、円安の影響や東南アジアを中心としたビザ発給要件の緩和などの訪日旅行を促進する環境が整い、外国人観光客が日本全体で増加傾向にある中、中国運輸局や広島県と連携し、プロモーション活動を積極的に展開するとともに、フリーWi-Fi 環境の整備など受入環境の充実に向けた取組を進めたことにより、対前年比 46.0%増の 53 万人となった。

平成 26 年（2014 年）は、前年からの円安基調に加え、東京オリンピック・パラリンピックの開催決定や、「和食」が世界的な評価を受けるなど※、訪日観光に高い関心が集まる中、外国人観光客に信頼の高い旅行口コミサイト等で高評価を得ている 2 つの世界遺産を中心としたプロモーションなどに取り組み、対前年比 24.0%増の 65 万 7 千人となった。

※平成 25 年 12 月 ユネスコ無形文化遺産登録

平成 27 年（2015 年）は、外国人観光客が増加する中、インバウンド対策として、中国運輸局や広島県と連携し、台湾・中国・フランス等を対象に、現地旅行業者等の招へいなどプロモーション活動を積極的に展開するとともに、大型クルーズ船の寄港誘致等を進め、対前年比 56.6%増で、初めて 100 万人の大台を突破し、102 万 9 千人となった。

平成 28 年（2016 年）は、外国人観光客の増加を図るため、広島県などと連携し、中国・台湾・フランス・タイに新たにアメリカ、オーストラリア、韓国、香港を加えた 8 市場を重点取組市場とし、市場ごとの旅行特性を踏まえたプロモーション活動を展開するとともに、海外の大型クルーズ船の寄港誘致などの取組を進めてきた。また、オバマ前米国大統領の訪問により広島への関心が高まったこともあり、対前年比 14.3%増の 117 万 6 千人となった。

平成 29 年（2017 年）は、前年から引き続き、8 つの国・地域を対象にプロモーション活動を展開した。また、世界最大の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」で、外国人に人気の日本の観光スポットとして広島平和記念資料館が第 3 位、厳島神社が第 4 位にランクインしたほか、平成 29 年（2017 年）10 月から広島空港にシンガポール線が就航し、東南アジアからの来広者も増加したことなどから、対前年比 29.2%増の 151 万 9 千人となった。

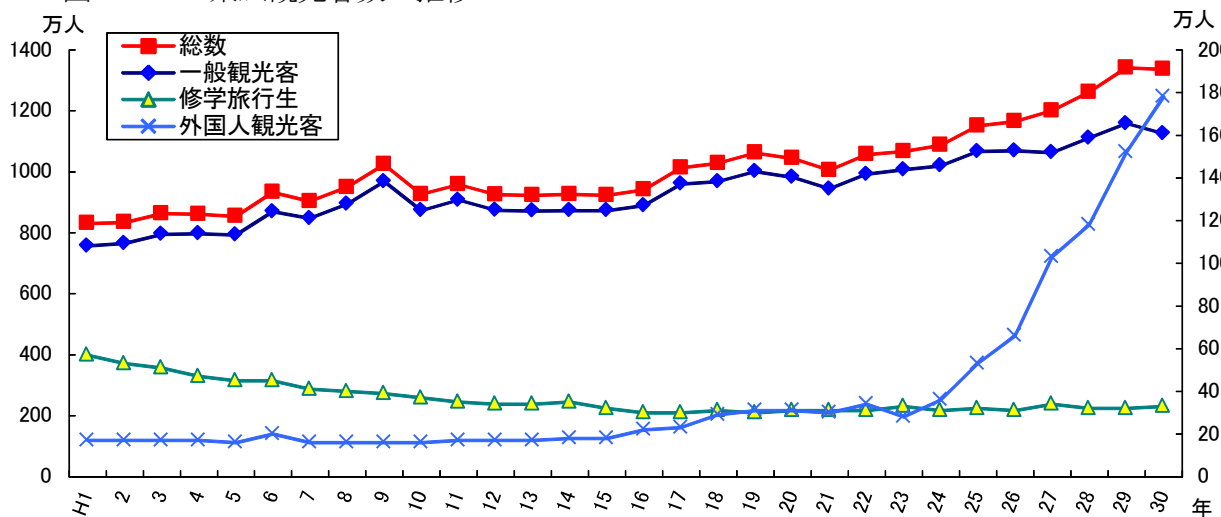
平成 30 年（2018 年）は、「トリップアドバイザー」で、外国人に人気の日本の観光スポットとして、広島平和記念資料館と厳島神社がそれぞれ前年から 1 ランクずつアップし、より注目度が上昇した。また、海外の誘客重点市場としている 8 つの国・地域に、3 つの国（イギリス、ドイツ、シンガポール）を加え、より一層のプロモーション活動に注力したことや、シンガポール人観光客が対前年比で倍増したことなどにより、対前年比 17.3%増の 178 万 2 千人となり、7 年連続で過去最高を更新した。（表 I - 1）

表 I－1 来広観光客数の推移

単位：千人，％

年	総 数		内 訳					
			一般観光客		修学旅行生		外国人観光客	
		前年比		前年比		前年比		前年比
平成元(1989)	8,306	109.3	7,567	109.7	567	99.5	172	127.4
2(1990)	8,342	100.4	7,648	101.1	528	93.1	166	96.5
3(1991)	8,631	103.5	7,950	103.9	513	97.2	168	101.2
4(1992)	8,613	99.8	7,972	100.3	470	91.6	171	101.8
5(1993)	8,541	99.2	7,934	99.5	451	96.0	156	91.2
6(1994)	9,334	109.3	8,691	109.5	446	98.9	197	126.3
7(1995)	9,034	96.8	8,467	97.4	412	92.4	155	78.7
8(1996)	9,494	105.1	8,940	105.6	399	96.8	155	100.0
9(1997)	10,235	107.8	9,684	108.3	389	97.5	162	104.5
10(1998)	9,259	90.5	8,726	90.1	372	95.6	161	99.4
11(1999)	9,581	103.5	9,065	103.9	349	93.8	167	103.7
12(2000)	9,252	96.6	8,739	96.4	343	98.3	170	101.8
13(2001)	9,233	99.8	8,719	99.8	341	99.4	173	101.8
14(2002)	9,259	100.3	8,730	100.1	346	101.5	183	105.8
15(2003)	9,231	99.7	8,734	100.0	317	91.6	180	98.4
16(2004)	9,406	101.9	8,887	101.8	302	95.3	217	120.6
17(2005)	10,131	107.7	9,599	108.0	301	99.7	231	106.5
18(2006)	10,277	101.4	9,678	100.8	305	101.3	294	127.3
19(2007)	10,624	103.4	10,014	103.5	298	97.7	312	106.1
20(2008)	10,435	98.2	9,818	98.0	307	103.0	310	99.4
21(2009)	10,048	96.3	9,439	96.1	305	99.3	304	98.1
22(2010)	10,571	105.2	9,918	105.1	314	103.0	339	111.5
23(2011)	10,673	101.0	10,069	101.5	327	104.1	277	81.7
24(2012)	10,873	101.9	10,197	101.3	313	95.7	363	131.0
25(2013)	11,513	105.9	10,667	104.6	316	101.0	530	146.0
26(2014)	11,652	101.2	10,690	100.2	305	96.5	657	124.0
27(2015)	11,997	103.0	10,633	99.5	335	109.8	1,029	156.6
28(2016)	12,611	105.1	11,112	104.5	323	96.4	1,176	114.3
29(2017)	13,414	106.4	11,576	104.2	319	98.8	1,519	129.2
30(2018)	13,362	99.6	11,254	97.2	326	102.2	1,782	117.3

図 I－1 来広観光客数の推移



(4) 居住地別来広観光客

来広観光客は関東・近畿で5割強

平成 30 年の来広観光客を居住地別に見ると、東北、関東、中部、山陽、九州・沖縄の割合が増加し、山陰を除くそれ以外の居住地の割合が減少している。(表 I - 2)

表 I - 2 居住地別来広観光客の推移 (外国人観光客を除く)

単位：％

年	北海道	東 北	関 東	中 部	北 陸	近 畿	山 陰	山 陽	四 国	九州・ 沖縄	計
26	1.9	3.5	32.0	13.6	2.7	22.3	1.5	6.8	4.3	11.4	100.0
27	2.1	3.2	33.6	16.2	2.8	19.5	1.2	6.5	3.9	11.0	100.0
28	3.3	3.9	31.0	14.6	3.9	18.7	1.2	7.8	4.9	10.7	100.0
29	1.7	3.7	36.1	16.4	2.9	17.9	1.2	8.1	2.8	9.2	100.0
30	1.5	4.0	37.2	17.3	1.8	15.4	1.2	8.7	2.7	10.2	100.0

資料：観光政策部推計

(5) 来広観光客の利用交通機関

利用交通機関はJRが5割弱

平成 30 年の来広観光客の広島への利用交通機関は、JR (鉄道) の利用が最も多く、次いで自家用車となっている。(表 I - 3)

表 I - 3 来広観光客の広島への利用交通機関の推移 (外国人観光客を除く)

単位：％

年	JR(鉄道)	自家用車	貸切バス	航空機	船舶	路線バス	その他	計
26	51.2	24.2	4.7	11.3	1.0	5.0	2.6	100.0
27	50.6	23.6	5.2	11.9	0.7	5.6	2.4	100.0
28	47.2	24.2	6.6	13.8	0.9	4.3	3.0	100.0
29	45.8	28.9	6.2	9.3	1.2	4.1	4.5	100.0
30	45.3	32.4	4.2	7.9	0.8	6.0	3.4	100.0

資料：観光政策部推計

(6) 宿泊率と日帰り観光客の滞在時間

宿泊する人は約4割

平成 30 年の本市での宿泊率は、40.6%と対前年比 0.8%の増加となった。

また、本市に宿泊しない日帰り観光客の市内滞在時間は、5時間以内が 45.9%から 40.2%、5～10 時間が 47.1%から 43.5%へと減少する一方で、10 時間以上が 7.0%から 16.3%へと増加している。

(表 I - 4、表 I - 5)

表 I - 4 来広観光客の宿泊状況

単位：千人，％

項 目	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
入込観光客数 (A)	11,652	11,997	12,611	13,414	13,362
宿泊客数 (B)	4,573	4,825	5,428	5,344	5,425
宿泊率 (B/A)	39.2	40.2	43.0	39.8	40.6

(注) 広島市の宿泊客数は表 I - 7 による。

資料：観光政策部推計

表 I - 5 日帰り観光客の市内での滞在時間 (平成 30 年)

単位：％

時 間	5 時間以内	5～10 時間	10 時間以上
割 合	40.2 (45.9)	43.5 (47.1)	16.3 (7.0)

(注) () 内は前年(平成 29 年)の数字である。資料：広島市来訪観光客アンケート調査結果

(7) 観光消費額

平成 30 年の来広観光客の市内での消費額は、対前年比 2.0%増の約 2,361 億円と推計され、1 人当たりの平均消費額は、対前年比 2.4%増の 17,670 円となった。(表 I-6)

表 I-6 来広観光客の市内での消費額

区 分	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
観光消費額(億円)	2,031 (146)	2,167 (235)	2,297 (247)	2,314 (338)	2,361 (396)
1 人あたり消費額 (円)	17,430 (22,220)	18,060 (22,870)	18,220 (21,010)	17,250 (22,280)	17,670 (22,230)

(注) () 内は外国人観光客の数字である。

資料：観光政策部推計

2 宿泊施設の状況

(1) 旅館業法の適用を受ける宿泊施設

平成 30 年の旅館業法の適用を受ける宿泊施設数は 237 軒、総定員数は 25,312 人となっており、定員数の割合では、ホテルが 81.8%を占めている。(表 I-7-1)

(2) 住宅宿泊事業法に基づく民泊施設

平成 30 年の住宅宿泊事業法に基づく施設数は 112 軒、同法が施行された 6 月から 12 月までの宿泊客数は 8,780 人となっている。(表 I-7-2)

(3) 宿泊客数及び定員稼働率

平成 30 年の宿泊客数(上記(1)と(2)の合計)は約 542 万 5 千人で、前年に比べて約 8 万 1 千人増加した。

また、定員稼働率は、全体では 66.0%となっており、施設別の定員稼働率は、ホテルは 67.9%、旅館は 24.5%、簡易宿所は 20.0%であった。(表 I-8)

月別については、施設全体でみると、3 月～5 月と 8 月～11 月が高い定員稼働率となっている。また、例年同様、1 月が最も低い定員稼働率となっている。(表 I-8)

表 I-7-1 宿泊施設及び宿泊客数の推移

区 分		平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	構成比
ホ テ ル	施設数(軒)	94	93	94	102	108	45.6
	客室数(室)	10,690	11,114	12,102	12,610	12,890	87.8
	定員数(人)	17,284	17,020	19,937	19,967	20,710	81.8
	宿泊客数(人)	4,207,121	4,342,019	5,095,763	4,878,367	5,049,556	93.2
旅 館	施設数(軒)	53	53	51	50	47	19.8
	客室数(室)	800	781	760	735	725	4.9
	定員数(人)	1,978	2,044	2,142	2,164	2,098	8.3
	宿泊客数(人)	236,901	242,739	227,506	270,856	187,273	3.5
簡易宿所	施設数(軒)	13	14	19	50	82	34.6
	客室数(室)	709	722	502	574	1,071	7.3
	定員数(人)	971	1,273	1,026	1,543	2,504	9.9
	宿泊客数(人)	128,688	240,292	104,257	195,177	179,598	3.3
合 計	施設数(軒)	160	160	164	202	237	100.0
	客室数(室)	12,199	12,617	13,364	13,919	14,686	100.0
	定員数(人)	20,233	20,337	23,105	23,674	25,312	100.0
	宿泊客数(人)	4,572,710	4,825,050	5,427,526	5,344,400	5,416,427	100.0

資料：観光政策部(宿泊客数は推計)

(注) 施設の区分は、旅館業法における営業許可登録やアンケート調査を基に判断した。

表 I - 7 - 2 住宅宿泊事業法に基づく民泊施設及び宿泊客数の推移

区 分		平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
民 泊	施設数 (軒)	—	—	—	—	112
	宿泊客数 (人)	—	—	—	—	8,780

資料：環境衛生課（宿泊客数は観光政策部推計）

表 I - 8 宿泊施設別、月別定員稼働率（平成 30 年）

単位：％

区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	年平均
ホ テ ル	54.8	60.9	70.6	73.3	72.4	64.1	65.8	76.3	69.2	70.9	72.3	63.2	67.9
旅 館	22.1	21.2	22.0	22.1	24.5	20.3	28.0	33.7	21.9	27.0	30.8	19.6	24.5
簡易宿所	10.6	14.5	14.5	19.4	18.3	16.5	24.0	30.3	24.8	24.3	22.4	12.9	20.0
全 体	53.6	59.5	68.2	71.0	70.2	62.1	64.0	74.4	67.2	68.9	70.3	61.1	66.0

資料：観光政策部

3 観光施設等への入館者数

(1) 総括

平成 30 年の主要観光施設への入館者数は、追悼平和祈念館を始め 10 施設で前年を上回った。

(表 I－9, I－10)

また、スポーツ観戦入場者数は、プロ野球公式戦・Jリーグ公式戦ともに前年を上回った。

(表 I－11)

表 I－9 主要観光施設への入館者数の推移

単位：人，％

	広島平和記念資料館		追悼平和祈念館		広島城		縮景園		ひろしま美術館	
年	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
26	1,325,530	96.6	241,106	112.7	246,112	110.0	210,086	84.7	168,223	111.9
27	1,468,956	110.8	308,788	128.1	296,422	120.4	235,432	112.1	129,688	77.1
28	1,691,467	115.1	334,551	108.3	326,750	110.2	279,928	118.9	149,145	115.0
29	1,694,233	100.2	379,252	113.4	335,498	102.7	279,640	99.9	189,154	126.8
30	1,525,848	90.1	434,950	114.7	304,908	90.9	306,015	109.4	195,776	103.5

	現代美術館		広島県立美術館		植物公園		安佐動物公園		こども文化科学館	
年	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
26	117,056	97.2	262,569	78.9	207,820	104.7	509,211	104.1	512,934	90.2
27	106,137	90.7	291,028	110.8	222,768	107.2	521,466	102.4	512,750	100.0
28	116,953	110.2	400,185	137.5	186,527	83.7	489,129	93.8	475,262	92.7
29	121,114	103.6	281,727	70.4	173,763	93.2	481,991	98.5	417,402	87.8
30	140,001	115.6	440,270	156.3	192,676	110.9	457,143	94.8	369,325	88.5

	郷土資料館		ガラスの里		広島市森林公園		江波山気象館		花みどり公園	
年	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
26	34,097	141.6	76,052	108.7	170,951	104.5	61,070	124.2	69,140	97.0
27	32,270	94.6	71,355	93.8	169,973	99.4	59,692	97.7	81,870	118.4
28	29,911	92.7	59,558	83.5	160,414	94.4	59,753	100.1	86,870	106.1
29	29,727	99.4	52,131	87.5	158,714	98.9	53,787	90.0	82,170	94.6
30	29,646	99.7	60,464	116.0	75,451	47.5	56,432	104.9	75,910	92.4

	交通科学館		頼山陽史跡資料館		マリーナホップ		湯来ロッジ		クアハウス湯の山	
年	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比	入館者数	前年比
26	197,902	101.0	7,553	80.3	2,193,912	101.0	149,123	91.7	63,340	105.6
27	210,965	106.6	10,796	142.9	2,273,801	103.6	155,503	104.3	63,150	99.7
28	193,515	91.7	10,765	99.7	2,476,292	108.9	156,138	100.4	62,311	98.7
29	232,197	120.0	9,263	86.0	2,459,734	99.3	154,104	98.7	63,193	101.4
30	252,785	108.9	9,649	104.2	2,094,346	85.1	149,556	97.0	60,107	95.1

表Ⅰ－10 主要観光施設の月別入館者数（平成30年）

単位：人

月	広島平和 記念資料館	追悼平和 祈念館	広島城	縮景園	ひろしま 美術館	現代 美術館	広島県立 美術館
1	66,620	22,037	20,316	12,600	17,919	10,783	9,945
2	65,477	21,617	17,014	18,983	14,636	13,804	10,526
3	123,635	35,877	33,651	59,702	19,719	9,178	9,613
4	153,848	44,270	30,790	37,079	13,723	8,471	9,303
5	201,355	51,557	33,854	23,798	15,218	8,719	15,126
6	119,766	35,451	21,636	17,007	14,243	13,216	11,171
7	86,579	29,146	19,706	11,575	12,285	10,727	29,858
8	163,441	43,998	30,656	18,050	24,937	16,621	153,471
9	121,771	36,987	24,215	21,245	14,073	10,676	150,774
10	181,407	48,457	27,964	22,661	13,316	8,250	10,392
11	164,361	42,801	29,104	47,166	21,929	18,702	15,175
12	77,588	22,752	16,002	16,149	13,778	10,854	14,916
合計	1,525,848	434,950	304,908	306,015	195,776	140,001	440,270

月	植物公園	安佐 動物公園	こども 文化科学館	郷土 資料館	ガラスの里	広島市 森林公園	江波山 気象館
1	2,366	20,378	21,267	1,281	2,755	4,211	3,599
2	4,065	17,027	21,490	1,658	2,868	5,066	8,177
3	23,271	52,478	27,581	1,315	3,592	14,497	4,306
4	28,330	55,868	27,990	896	3,452	19,997	4,271
5	26,063	61,537	25,631	943	4,672	18,842	3,304
6	11,929	25,205	32,159	1,072	3,064	11,437	4,216
7	7,511	8,557	42,016	3,122	2,416	1,401	2,389
8	20,403	47,641	56,011	5,762	7,152	0	7,890
9	14,458	41,612	27,314	2,282	9,753	0	6,372
10	19,513	69,055	38,361	2,899	5,799	0	6,257
11	15,807	43,266	27,789	7,639	7,265	0	3,845
12	18,960	14,519	21,716	777	7,676	0	1,806
合計	192,676	457,143	369,325	29,646	60,464	75,451	56,432

月	花みどり 公園	交通 科学館	頼山陽 史跡資料館	マリーナ ホップ	湯来 ロッジ	クアハウス 湯の山
1	3,430	22,958	446	217,184	13,291	4,137
2	4,910	18,781	673	172,184	10,298	3,038
3	7,680	24,500	1,303	195,833	11,920	4,366
4	11,890	18,025	277	203,202	13,076	4,266
5	8,300	19,587	725	176,175	13,514	5,040
6	5,990	13,087	723	139,949	12,534	5,187
7	3,770	14,311	780	134,895	9,409	6,978
8	4,850	26,119	818	175,691	15,620	10,303
9	5,170	23,707	1,200	160,574	10,782	5,516
10	6,600	27,010	834	180,242	12,409	4,269
11	8,520	30,220	925	172,100	15,477	3,542
12	4,800	14,480	945	166,317	11,226	3,465
合計	75,910	252,785	9,649	2,094,346	149,556	60,107

表 I-11 スポーツ観戦入場者数の推移

単位：数、人、位

年	プロ野球公式戦 (広島市民球場)			Jリーグ公式戦 (広島ビッグアチ・広島スタジアム)		
	試合数	入場者数	公式戦順位	試合数	入場者数	公式戦順位
26	68	1,851,981	3	23	297,688	8
27	67	2,041,951	4	21	332,223	1
28	70	2,130,663	1	21	293,965	6
29	69	2,150,261	1	21	267,238	15
30	70	2,205,167	1	20	267,431	2

資料：株式会社広島東洋カープ、株式会社サンフレッチェ広島

(2) 広島平和記念資料館の入館者

平成 30 年の広島平和記念資料館の月別入館状況は、大型連休のある 5 月（201,355 人）、行楽・修学旅行シーズンの 10 月（181,407 人）、が特に多くなっている。その一方で、7 月と 8 月は、7 月に発生した豪雨災害の影響により、対前年比で 20%超の減少となった。

また、大人と小人の入館者数の多い月は、大人では 4 月、8 月、5 月の順となっているが、小人では 5 月、10 月、11 月の順となっている。（表 I-12）

表 I-12 広島平和記念資料館月別入館者数（平成 30 年）

単位：人

月	大人	小人		合計		前年合計	前年比
			うち修学旅行等団体		うち外国人		
1	55,086	11,534	4,673	66,620	19,762	69,684	95.6%
2	56,116	9,361	5,399	65,477	15,637	66,059	99.1%
3	105,520	18,115	4,286	123,635	37,196	133,299	92.8%
4	128,969	24,879	13,784	153,848	66,402	158,681	97.0%
5	121,324	80,031	72,282	201,355	47,026	211,136	95.4%
6	77,122	42,644	37,442	119,766	29,413	130,032	92.1%
7	68,979	17,600	6,992	86,579	36,718	119,397	72.5%
8	125,957	37,484	4,702	163,441	43,720	207,272	78.9%
9	87,831	33,940	28,674	121,771	32,509	138,233	88.1%
10	105,721	75,686	70,102	181,407	46,132	196,163	92.5%
11	100,444	63,917	58,788	164,361	33,868	183,037	89.8%
12	52,289	25,299	18,974	77,588	20,143	81,240	95.5%
計	1,085,358	440,490	326,098	1,525,848	428,526	1,694,233	90.1%

資料：広島平和記念資料館